

令和7年度（2025） 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市西総合スポーツセンター（有料） ※プール有り			
管理者名	公益財団法人新潟市開発公社	指定期間	令和6年4月1日	～ 令和11年3月31日
担当課	西区地域課			
所在地	西区五十嵐1の町6368番地48			
根拠法令	スポーツ基本法			
設置条例	新潟市体育施設条例			
施設概要	敷地面積 37,091㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造鉄筋）2階建 主な施設内容（構成施設の内容） 大体育室 1,570㎡ トレーニング室 390㎡ 屋内プール 945.5㎡ 屋内ゲートボール場 1,471㎡ 庭球場 3,789㎡			

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管理・運営に関する基本理念, 方針等
(1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 204,040人(但し、施設閉鎖期間、大会等利用による利用制限等を考慮し評価する)	177,701人	B	施設閉鎖期間を考慮し、評価
	基準利用率の達成	・利用率平均60%以上(利用時間数/利用可能時間数)(但し、大会等利用による利用制限等を考慮し評価する) ※体育室・研修室・庭球場・屋内GB場を対象	・利用率平均64.1%	B	
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には3営業日以内に回答	・適切(3営業日以内)に回答	B	
	サービス満足度	・指定管理に関する利用者アンケートで「満足」が65%以上	・利用者アンケート該当6項目平均81.5%	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 22,670人以上	・スポーツ教室延べ参加者数25,471人(対前年度比85.7%) ※R7:屋内プール特定天井改修工事のため、プールでのスポーツ教室中止。	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
財 務	市の歳入の増加	・年間使用料収入(免除料金除く)51,375千円以上(但し、施設閉鎖期間、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	49,351,498円 ※R7使用料改定前の駆け込み購入が影響したものと思われる	B	施設閉鎖期間を考慮し、評価
	管理運営経費の削減	・管理経費を抑える取り組みの実施 5件以上	・電力会社を入札により選定 ・指定管理者負担による各体育室照明のLED化工事(大体育室・中体育室H31.3竣工)により消費電力低減 ・LED化工事 屋内GB場R4.10竣工、テニスコート(1・2)R4.10竣工、同(3・4)R5.5竣工、アーチェリー場の場8台R6.3竣工、トリムコース外灯16台R7.3竣工により消費電力を低減 ・利用状況に即したこまめな照明点灯を徹底 ・各所節水コマの設置 ・電子決済システム導入による事務効率化・ペーパーレス化 ・経費執行における複数社見積合せ ・シフト効率化、スライド勤務による時間外勤務手当の削減 ・代休取得による時間外勤務手当の削減	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
業 務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年4回以上実施	・小学校3校職場見学協力 ・中学校3校職場体験、職場訪問協力 ・小学校1校ラジオ体操指導協力 ・AED N@VI サポーター登録 ・使用済み切手回収活動 ・盲導犬育成支援事業募金箱設置 ・ロストボール(テニス)回収・寄付活動 ・「海ごみゼロイベント」を実施 ・五十嵐浜海岸清掃への参加 ・フードドライブ実施	A	評価指標を大幅に上回ったことを評価
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	・勧告実績なし	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修等 年2回以上実施	・ハラスメント研修 ・コンプライアンス研修	B	
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年12回以上実施(消防訓練・救命救急訓練など)	・消防訓練 2回実施 ・水難救助訓練 4回実施 ・普通救命講習Ⅱ 1回実施 ※通年開放時は水難救助訓練を10回程度実施していた	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	・水難救助訓練時等にAED講習を実施 ・有資格者による応急手当講習を実施	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	・各事項の順守を徹底した	B	
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年7回以上実施(オンライン等も含む)	・接遇研修 ・コンプライアンス研修 ・ハラスメント研修 ・JPPC講習会 ・施設内設備機器操作研修 ・トレーニング機器操作指導研修 ・普通救命講習Ⅱ 他	B	
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	・法令遵守を徹底した	B	

【評価基準】

- A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。
C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

今年度は屋内プール特定天井改修工事に伴い4月から12月まで利用休止となったため、前年度対比で利用者数81.6%となった。これに加え、前年度の3月には使用料改定に伴う定期券及び回数券の購入が増加したことにより、前年度対比で施設使用料は82.9%となった。

そんな中、個人利用者数ではトレーニング室は10,289名増(110.3%)、体育館は4,982名増(110.7%)を達成。スポーツ教室では屋内プールでの教室は開催できないながらもSNS広告等で周知を図り、体育館棟のみでは前年比2,798名増(112.3%)を実現。

前年度に引き続きトリムコース外灯照明の敷設替えLED化により消費電力及び使用料低減につなげた。

施設管理では、毎時の施設巡視と定期点検等をきめ細やかに行之、老朽化が進む施設や備品等に不具合が生じた際は迅速に対応することで事故等を未然に防ぎ、施設瑕疵による事故発生「0件」を実現。

屋内プール特定天井改修工事に併せ、各所老朽箇所の修繕や整備を行い、お客様が安全安心に継続してご利用いただける施設管理運営に努めた。

次年度は体育館棟の特定天井改修等工事に伴う各室場の利用中止が予定されているため、事前周知や丁寧な説明を行うことで、工事終了後の利用再開につなげていきたい。

所管課による総合評価 (所 見)

今年度は屋内プールの特定天井改修工事に伴い4月から12月まで利用休止となり、前年度対比で利用者数81.6%、施設使用料82.9%となったが、これは外部要因によるものでやむを得ない。そうした中でもトレーニング室(110.3%)、体育館(110.7%)で個人利用者数を伸ばし、体育館棟のスポーツ教室も前年比112.3%を達成した点は評価できる。また、きめ細かな巡視・点検により施設瑕疵による事故「0件」を実現したほか、LED化による経費節減にも取り組んだ。次年度は体育館棟の改修工事が予定されているが、事前周知と丁寧な説明により利用者離れを防ぎ、円滑な利用再開につなげることを期待する。